

1. 評価結果概要表

作成日 2008年2月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2792000073
法人名	株式会社ニチイのほほえみ
事業所名	ニチイのほほえみ我孫子
所在地	大阪市住吉区山之内1丁目20番4号 (電話) 06-4700-3781

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	2008年 1月10日	評価確定日	2008年 3月13日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 19年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 11人, 非常勤 6 人, 常勤換算	14.4 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	85,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(170,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(170,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		実費 円

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	3 名	要介護2	10 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	65 歳	最高	103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人日綱会スズキ診療所 医療法人慈心会あびこ病院 芝野歯科医院
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR我孫子の駅から近く住宅街の中にあり、外観からも明るくオープンな雰囲気があるホームです。訪問時にもスタッフと入居者が一緒に外に出て、ホーム周りの掃除をしており、共に暮らしながら支援している姿が見られました。高齢者の自立と尊厳を守ることを一番に考え、入居者の意思の尊重や個々のペースでの生活ができるように支援しています。明るく活動的な管理者を中心に、スタッフと入居者の関係が深く、職員が出勤した際は「ただいま」、帰る際は「行ってきます」と言われており、温かく、明るい家庭的な雰囲気のあるホームです。町内会や近隣の施設との関係も良く、行事等で行き来も活発におこなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前法人の時に外部評価を受け、結果をスタッフ全員で振り返っています。ホームの共有スペースの飾り方を検討したり、カンファレンスを活かしたケアプランの作成に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目 ②	今回の自己評価は、リーダー2名と事務員、管理者とで自己評価を実施し、自己評価の結果をスタッフに伝え、改善策に取り組んでいます。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目 ③	2ヶ月に1度、入居者と家族、民生委員、地域包括センター、社会福祉協議会等からの出席があり、運営推進会議が行われています。ホームのイベントに合わせての開催もしています。内容は、ホームの活動や行事報告、質問や要望などを聞く機会となっています。出席者からは、地域の行事や住人との交流についての協力等の意見が多くあり、活発な会議になっています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目 ④	月に一度、ほほえみ便りを作成しホーム全体の様子を伝えたり、請求書と一緒に個々の入居者の様子について手紙を書き伝えています。面会時には、介護記録を見てもらいながら様子を伝え、家族からも要望を出しやすいような雰囲気を作り、話を聞いています。個々のケアの要望など、意向をくみ取りサービスの改善につなげています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目 ④	町内会や老人会に加入し、町内会の新聞から行事の情報を得て、行事に参加しています。また、ホームの行事に地域の住人にも参加してもらう機会があります。スーパーの店員や近隣のディサービスの職員とも顔なじみになり、良い関係を築いています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社として「誠意・誇り・情熱」を社是として掲げ、事業所として高齢者の自立と尊厳を守り、入居者の自立支援と自宅事業所としての生活と変わらぬ環境での生活を目標としています。	○	地域の中で、自宅で暮らしているような生活を支援していくことを、わかりやすい言葉で、事業所独自の理念を作りあげていくことを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に唱和したり、カンファレンス時には理念意識し、自立支援や尊厳を守るためのサービスの実践に向けて話し合いを行っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や老人会に加入し、町内会の新聞から行事の情報を得て、行事に参加しています。また、ホームの行事に地域の住人にも参加してもらう機会があります。スーパーの店員や近隣のディサービスの職員とも顔なじみになり、良い関係を築いています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月、法人の運営チェックで自己評価を行っています。今回の自己評価は、リーダー2名と事務員、管理者で実施し、結果をスタッフに伝えています。前法人の時に外部評価を受け、結果をスタッフ全員で振り返っています。ホームの共有スペースの飾り方を検討したり、カンファレンスを活かした、ケアプランの作成に取り組んでいます。	○	全職員が自己評価の時点から項目を知ってもらい、改善やできている点などに対して意見を出してもらえるような取り組みを期待します。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、入居者と家族、民生委員、地域包括センター、社会福祉協議会等からの出席があり、運営推進会議が行われています。ホームのイベントに合わせた開催もしています。内容は、ホームの活動や行事報告、質問や要望などを聞く機会となっています。出席者からは、地域の行事や住人との交流についての協力等の意見が寄せられています。		

ニチイのほほえみ我孫子

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者とは、足を運び、なるべく関わりを持つようにしており、事務処理の時や法律の相談に区役所に行き話をしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度、ほほえみ便りを作成しホーム全体の様子を伝えたり、請求書と一緒に個々の入居者の様子について手紙を書き伝えています。面会時には、直接話をしたり、介護記録を見てもらいながら伝えています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や要望についての窓口を表示しています。また、言いやすい雰囲気を作り、話を聞いています。個々のケアの要望については、意向をくみ取りサービスの改善につなげています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の異動はありません。やむを得ず退職がある時には、退職することは告げずに残ったスタッフが入居者へのダメージが少なくなるよう配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の内部研修が充実しています。また、個々に外部研修にも自主的に参加しています。参加した研修には、会議の場で伝達研修を行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	府のグループホーム協議会や区の施設サービス事業者部会に参加しています。また、区内のグループホームの交流会があり、情報交換や勉強会の場があります。近隣のディサービスや知的障害者施設とも交流を持っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	契約前に見学に来てもらったり、入居までの間に、日中來所してもらい一緒に過ごしてもらい、徐々に馴染んでもらうよう支援をしたり、入居後に家族の協力を得ながら、ホームで暮らすことに慣れていってもらっています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフと入居者が一緒に生活することを大切に、料理や掃除を共に行いながら、昔のことや常識、しきたりなどを教えてもらっています。スタッフは出勤時に「ただ今」退勤時に「行ってきます」と声掛けし、ホームが家であるかのように共に暮らすということを意識しています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	記録には細かくその時の入居者の思いが残るように書かれています。また、毎日のカンファレンスで本人本位に話し合いながら、思いを把握するよう努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスを重ねながら、話し合った結果介護計画を立案しています。介護計画の案ができた時点で家族に説明し、意見を加え、作りあげています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに日常生活の自立度を再度見直し、カンファレンスを行い、介護計画を見直しています。また、状態の変化に応じて介護計画を再立案しています。		

ニチイのほほえみ我孫子

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物や喫茶店への外出支援やディサービスの利用、入院時の早期退院へ向けての支援等を行っています。また、家族の希望と一緒に食事をしたり、宿泊にも対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談し、かかりつけ医を決めています。提携のかかりつけ医は月に2回往診に来てもらい、24時間連絡できる体制をとっています。歯科の往診やリハビリを受けている入居者もいます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時にホームの考え方や方針について説明し、家族の考えも聞いています。実際に終末期には、家族、主治医、訪問看護師、スタッフと話し合いを重ねながら、ケアにあたっています。今までにも終末期をホームで看取りまで支援を行った経験があります。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	親しみやすい言葉遣いですが、プライバシーを損ねないよう配慮しています。個人情報は鍵のかかる書庫に適切に保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「待ってください」といわないケアを心がけています。できる限り個々の意思を尊重し、その人のペースで生活できるように支援しています。		

ニチイのほほえみ我孫子

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、午後買い物に出かけ、メニューを一緒に考えたり、料理をしたり、後片付けを行っています。職員も一緒に食卓を囲み食事をしながら、楽しく食事できるように支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、午前中から20時まで好きなときに、ゆっくりと入浴できるような体制があります。また、入浴を好まない入居者にも2～3日に1度は入ってもらえるように誘導の工夫をしています。銭湯にも行き、楽しんでもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	和裁や料理、畑や植物の世話など、今までの生活歴や習慣をホームでも活かしながら生活できるように支援しています。生け花をされていた入居者も、見て楽しむように支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、散歩または買い物に出かけるように支援しています。近隣のスーパーや喫茶店では、近隣の住人とも顔なじみになっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロア、玄関とも鍵をかけていません。センサーや通リ道の暖簾に鈴をつけたりし、音で外出の察知できるようにしています。外出したい時に出来るだけ外に行くことができるようにも支援しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に3～4回消防署から災害訓練を行っています。また、ホーム独自でも避難経路の確認や避難訓練を行っています。	○	運営推進会議等にて、地域の住人も一緒に参加してもらうことを提案し、実際に協力を得られるような取組みを期待します。

ニチイのほほえみ我孫子

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士が立てたメニューやカロリーの載っているレシピを参考に、栄養バランスやカロリーを考慮した食事を作っています。食事摂取量や水分量も把握されており、一人ひとりの体調や状態に合わせ、医師と連携もしながら支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りから緑が多く、ホーム内にも観葉植物や生け花を飾り、季節感のある空間が作られています。リビングは広く明るく、ソファを置いたり和室もあり、ゆっくりとくつろいで過ごすことができるよう配慮されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が以前から使っていたものを持ち込んでもらっています。個人差はありますが、仏壇やテレビ、使い慣れたテーブルなどを使いやすい位置に置き、居心地の良い空間になっています。		